

第7回 いわみフレッシュ フェスティバル

～人権・健康・文化の祭典～ 11月2日～4日

楽しい出会い、うれしい出会い、おいしさ発見満載です。
テント村の出店や体育館の催し、公民館のイベントは3日と4日です。
10月31日の新聞折り込みチラシをご覧ください。広報いわみ10月号にも概要が掲載されています。

こうみんかん だより

No.364



公民館をみなさんのほつとステーションに!!

公民館は、「つどう」「まなぶ」「つなぐ」場です。公民館に「気軽に参加できるサークル、グループがない」と言われる方、あなたになりたいことお知らせください。また、あなたの出来ることも併せてお知らせください。各地区公民館も特色ある講座、活動を行っています。まずはお近くの公民館にお出かけくださいね。

いわみ 高齢者大学

「今年も館外研修に行ってきました!」

毎年恒例の、いわみ高齢者大学館外研修、今年は豊岡市へ行ってきました。9月中旬のまだ残暑の厳しい頃でしたが、晴天に恵まれお目当てのコウノトリも間近で見ることができました。コウノトリ文化館の見学を終え、最後に記念撮影をしていると、私たちの頭上をコウノトリが飛んでいき、最後にほつこりと和ませてくれました。

午後からは、城崎温泉街へ行き、麦わら細工伝承館と温泉寺境内にある薬師堂を見学しました。なぜこのコースかといいますが、城崎の麦わら細工は、因幡の国(鳥取)から湯治にきていたわら職人半七が作り始めたと伝えられているからです。麦わら細工は、城崎にしか



ない伝統工芸品。その先駆者が鳥取の人だと思つと、なんだか誇らしいですよ。城崎とのつながりをつかり学習できました。

このような研修を終え、バスの中では運営委員さんが中心となつて歌や脳トレ頭の体操で盛り上がりながら、豊岡を後にしました。

プレイパークいわみ

ーうやぎに 変身!ー

9月15日(土)第4回プレイパークいわみでお月見の会を行いました。

お月見といえど?団子に、スキ・ソとしてうさぎ。今年のプレイパークいわみでは、お月見の会の始まりに、元気なかわいいうさぎちゃんたちと1羽のおかあさんうさぎが登場しました。ステージをぴよんぴよんとはね、お月見気分をいっそう盛り上げられました。

まだまだ暑いと感じていた9月でしたが、スキや萩といった草花もそろい秋らしい装いの会場で、お月見の歌を歌ったり、お団子をこねたりしました。

秋を感じながら、おいしいお団子を食べ、食欲の秋も堪能することができました。

岩美川柳会

「自由吟」

血を抜かれ三分間の砂時計

山下 蟹郎

宝くじ先に買つても当たらない

北村 稔

先のこと考えません今生きる

飯野 菖子

リハビリを休むと明日が逃げてゆく

羽津川公乃

休ませてあげたい人が休まない

石谷美恵子

父母が待つ故郷がある夏期休暇

岡本 幸枝

ポケットのゴミが昨日を語りました

田口 清帆

妻よりもちよい先に逝く幸せよ

小西 幸安

ポケットの中でガッツの掌を握る

山下 節子

先頭に知つたか振りがいる迷路

石谷 忠良

松かさ短歌会

君の名の残れる手袋草取りに薄くなりゆく名も指先も

岩垣 明美

明けきらぬ渚の仏送り終え香の煙の淡くただよう

前田喜代美

線香をたむけて孫のこと祈り灯

火に地蔵のお顔ほえむ

安木 和代